

小櫻銀次

帝キキ 声屋時代映畫

脚色者 偉志 廻山人氏
監督者 唐澤 弘光氏
撮影者 二宮 義麿氏

主要役割

小櫻銀次 松本 田三郎氏
新枯槎屋 葛吉 柳 まさ子嬢
水車番作 片岡 重十郎氏
名倉屋 清右衛門 片岡 好右衛門氏
後妻 お近 尾崎 静子嬢
息子 清三郎 片岡 紅三郎氏
番頭 惣助 中村 飯曉氏
飯 権助 中村 獅哥平氏

解説——「獅子王」について唐澤弘光氏が監督製作した時代劇である。
略筋——巨万の富を擁する名倉屋の一人清三郎は枯槎屋の葛吉と戀の甘酒に酔つてゐた。岡家の番頭惣助はそれを口實に清三郎を追ひ出し、名倉屋の横頭せんと企てゐた。彼もまた葛吉を我物にしやうと執念くつきまとい彼女が彼の暴力に冒されんとす時常に小櫻銀次に助けられる。其頃江戸市中を荒してゐた銀次は常に影の如く葛吉を守つてゐた。そして危機に迫れる清三郎と葛吉を自分の生國奥州の城下はづれへ落して名倉屋を保護しやうとしが餌用の聲に圍まれた。果して銀次は危急を逃れたであらうか。